

<事業名> 但東の自然とあそぼう

団体名	但東野あそびくらぶ いつなっと
所在地	豊岡市
代表者名	西垣 由佳子

事業内容	日時	令和4年6月5日から令和5年2月28日まで		
	場所	但東町高橋地区、合橋地区、資母地区		
事業内容	内容	2か月に一度の自然観察会や体験活動を通して親子で但東の自然に親しみ、興味関心を高める。また身近な自然を大切に思う気持ちやふるさとへの愛着を育む。		
	地域	豊岡市		
事業の効果	(1) 団体（組織）内の効果	2年目ということもあり、昨年の経験を踏まえた上で、気持ちの余裕をもって事業を計画し、進めることができた。参加者に伝えたいことが明確になり、スタッフ内でも役割分担ができるようになってきた。レギュラースタッフが参加できない場合は、サポートスタッフとして臨時で手伝ってくれる人員が増え、安心感も出てきた。あくまでボランティア活動なので、長く続けるためにも『来られるときだけ無理なく』をモットーに、スタッフの負担軽減についても引き続き留意していきたい。ゲストで来ていただいた講師陣からの学びも多く、回を重ねるごとにスタッフの知識や経験則も高まっている。		
	(2) 地域への波及	活動初年度に比べ、「但東 野あそびくらぶ いつなっと」として、但東地域の方々に認識されるようになってきたように思う。7月には合橋地区のコミュニティあいほしより依頼を受け、〈ライトトラップ観察会〉を実施、9月には県立出石高等学校より地域探求授業として〈石部神社での自然観察会〉、10月には資母地区の資母まちづくり協議会より依頼を受け〈城山の自然観察会〉を実施した。『但東の自然とあそぼう』事業以外でも、地元の皆さんから自然観察会の依頼をいただくことは大変ありがたい。「今ある地域の自然を、地域の子どもたちに伝えていくべきだ」という意識を地域の皆さんもまた、私たちと同様に感じていることがわかった。10月には いつなっとの若手スタッフがワークショップの経験を活かし、他団体の観察会にスタッフとして招かれて活躍する機会もあり、活動の幅が広がりつつあることを感じる。		
事業経過	月 日	実施内容	場 所	参加人数
	6月12日	骨の観察会	高橋地区コミュニティセンター	49人
	7月30日	出石川の自然観察会 ～小さな自然再生～	出石川 (但熊前)	29人
	11月13日	ケヤキの森のかんさつと枝をつかった小物づくり	久畑の一宮神社	34人
	12月11日	羽子板と餅花づくり	資母コミュニティセンターと如布神社	31人
	2月4日	雪山スノーシューハイキング	シルク温泉やまびこ周辺	20人

協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学 横山真弓教授</li> <li>・一般社団法人 里山いきもの研究所森正恵氏</li> <li>・NPO 法人 コウノトリ市民研究所主任研究員 北垣和也氏</li> <li>・上山エコミュージアム 山本一幸氏</li> <li>・NPO 法人但馬自然史研究所 松本茂樹氏</li> <li>・NACS-J 自然観察指導員 兵庫連絡会</li> </ul>
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等          参加費の設定について再考が必要だと思われる。また、参加者の層が移り変わる中で、年度の後半は参加人数が減少傾向にあった。少人数で中身の濃い観察会もよいとは思いますが、やはり最低限の参加人数の確保はしていくべきだと考える。令和4年度11月までの観察会の周知に関しては、但東地域と出石地域の一部の小学校と幼稚園にチラシを配布していたが、翌年の2月からは旧豊岡市内の小学校13校にもチラシの配布を行った。また、年度の終わりにはいつなっと通信を発行し、市内の小学校を中心にいつなっと活動を知ってもらうようにした。今後は但東地域だけに限らず、広く周知をしていくことも必要だと感じている。中学生の子どもサポートスタッフが活躍してくれているので、無理なく参加してもらえ体制づくりが大切である。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等          11月、12月には地元の中学生在が子どもサポートスタッフとして、より主体的に観察会に関わってくれ、大きな効果があったと感じた。参加者とスタッフとの間に立つような、中間的な存在は参加している小さな子どもたちにとっても非常にプラスに働いている。          SNS等の発信については、観察会の実施報告だけでなく、ちょっとした自然の話題や季節の移り変わりなどを発信することもしていきたい。いつなっとの活動の趣旨を理解し、広く、ゆるく関わる協力者を少しずつ増やしていったことが地域活動の拡大にもつながったと思われるので、引き続き、地域に根差したボランティア団体として、自然観察会を行ってきたい。</p>



4年6月12日 骨の観察会



4年7月30日 川の観察会



ムクロジを使った羽子板と餅花づくり



スノーシューで雪山ハイキングへいこう